

イネ科 スズメノチャヒキ属

# キツネガヤ (狐茅)

*Bromus remotiflorus* (Steud.) Ohwi

## 自生環境

山林

## 原産地

日本在来

## 生育を脅かす要因



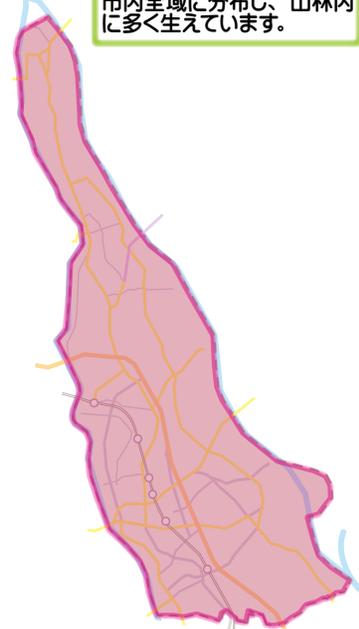
山林周辺の薄暗くジメジメとした場所に生える草です。ササ類や外来種がはびこったり、伐採などで土地が乾燥したりすると、姿を消してしまうおそれがあります。

## 特徴

- ☆ 薄暗い林内または林縁で、下草が多く生えてやぶ蚊がたくさんいそうな場所に生える多年草です。とても地味な上に、ほかの草に紛れるようにして育っているため、穂の無い時期に見つけるのはとても大変です。茎や葉には白くて柔らかい毛が多く生えていて、ピロードのようなさわり心地です。
- ☆ 6~7月ごろ、茎の先から長さ20~30cmほどの穂を出します。穂は一方方向にたなびくようにゆるやかに垂れさがります。ひとつひとつの小穂は細長く、長い芒があります。中のタネが成熟するとこの芒が動物の体毛に引っかかるなどして、ひっつき虫となり、あちこちに運ばれていきます。
- ☆ 小穂は細長い上に、さらにその先に長い芒があり、遠目から「細くたって見える」ため、それをキツネに見立てたのが名前の由来と言われています。

## 市内の分布状況

市内全域に分布し、山林内に多く生えています。



## ニセキツネガヤが登場?

イネ科スズメノチャヒキ属の植物は、どれもよく似ている上に、近年は外来種が多数侵入しており、見分けが一段と厄介になっています。そんな中、ヨーロッパ原産のアレチノチャヒキは、別名ニセキツネガヤで、ぱっと見がキツネガヤそっくり。幸いアレチノチャヒキはきわめて少数派です。またキツネガヤのような自然豊かな山林にはなく、街中の荒れ地のような場所に見られます。



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

